

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2006-154164 (P2006-154164A)

【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報 2006-023

【出願番号】特願 2004-343370 (P2004-343370)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 T 3/40 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 M

G 0 6 F 3/00 6 5 6 A

G 0 6 T 3/40 A

G 0 9 G 5/36 5 1 0 M

H 0 4 M 1/00 R

G 0 9 G 5/36 5 2 0 E

G 0 9 G 5/36 5 2 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 15 日 (2006.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画再生機能を有する携帯端末であって、

動画を再生する再生手段と、

複数のキーが配置されたキー入力手段と、

前記複数のキーの配置に対応させて複数の領域に仮想的に分割された画面を有し、前記再生手段により再生された動画を表示する表示手段と、

前記表示手段に動画が再生表示されているときに、前記キー入力手段のいずれかのキーが操作されると、撮像画像と同じ解像度で、前記操作されたキーに対応した領域の撮像画像の一部を前記表示手段に全画面表示する表示制御手段と

を具備することを特徴とする携帯端末。

【請求項 2】

前記表示制御手段は、

前記表示手段に全画面表示されている撮像画像から背景が白色の領域、あるいは、映像が存在しない部分である空白領域を抽出する抽出手段を具備し、

前記抽出手段により抽出された領域に撮像画像の一部分を表示していることを示す情報を表示することを特徴とする請求項 1 記載の携帯端末。

【請求項 3】

前記抽出手段は、

前記表示手段に全画面表示されている撮像画像のヒストグラムを生成し、該ヒストグラ

ムに基づいて、背景が白色の領域、あるいは、映像が存在しない部分である空白領域を抽出することを特徴とする請求項 2 記載の携帯端末。

【請求項 4】

前記表示制御手段は、

前記表示手段に全画面表示されている撮像画像の第 1 のヒストグラムを生成する第 1 ヒストグラム生成手段と、

撮像画像全体の第 2 のヒストグラムを生成する第 2 ヒストグラム生成手段と、

前記第 1 のヒストグラムと前記第 2 のヒストグラムとを比較し、前記撮像画像全体における、前記表示手段に全画面表示されている撮像画像の位置を特定する位置特定手段とを具備し、

前記位置特定手段により特定された位置の撮像画像を前記表示手段に全画面表示することを特徴とする請求項 1 記載の携帯端末。

【請求項 5】

前記第 2 ヒストグラム生成手段は、前記表示手段に全画面表示されている撮像画像が存在した領域と同じ領域の近傍における撮像画像の第 2 のヒストグラムを生成することを特徴とする請求項 4 記載の携帯端末。

【請求項 6】

動画を再生するための動画再生方法であって、

複数のキーの配置に対応させて複数の領域に仮想的に分割された画面で、動画が再生表示されているときに、前記複数のキーのいずれかのキーが操作されると、撮像画像と同じ解像度で、前記操作されたキーに対応した領域の撮像画像の一部を全画面表示することを特徴とする動画再生方法。

【請求項 7】

前記全画面表示されている撮像画像から背景が白色の領域、あるいは、映像が存在しない部分である空白領域を抽出し、抽出された領域に撮像画像の一部を表示していることを示す情報を表示することを特徴とする請求項 6 記載の動画再生方法。

【請求項 8】

前記全画面表示されている撮像画像のヒストグラムを生成し、該ヒストグラムに基づいて、背景が白色の領域、あるいは、映像が存在しない部分である空白領域を抽出することを特徴とする請求項 7 記載の動画再生方法。

【請求項 9】

前記全画面表示されている撮像画像の第 1 のヒストグラムを生成し、撮像画像全体または前記全画面表示されている撮像画像が存在した領域と同じ領域の近傍における撮像画像の第 2 のヒストグラムを生成し、前記第 1 のヒストグラムと前記第 2 のヒストグラムとを比較し、前記撮像画像全体における、前記全画面表示されている撮像画像の位置を特定し、該特定された位置の撮像画像を全画面表示することを特徴とする請求項 6 記載の動画再生方法。

【請求項 10】

動画再生機能を有する携帯端末であって、

動画を再生する再生手段と、

前記再生手段により再生される動画の特定領域に含まれる特定映像を全画面表示する表示手段と、

前記表示手段に全画面表示されている特定映像の第 1 のヒストグラムを生成する第 1 ヒストグラム生成手段と、

前記再生手段により再生される動画の全体映像の第 2 のヒストグラムを生成する第 2 ヒストグラム生成手段と、

前記第 1 のヒストグラムと前記第 2 のヒストグラムとに基づいて、前記再生手段により再生される動画の全体映像から前記特定映像が含まれる新たな特定領域を検出する特定領域検出手段と、

前記再生手段により再生される動画の全体映像うち、前記特定領域検出手段によって検

出された新たな特定領域に含まれる特定映像を前記表示手段に全画面表示する表示制御手段と

を具備することを特徴とする携帯端末。

【請求項 11】

前記特定映像が含まれる特定領域の初期位置を指定する初期位置指定手段を具備することを特徴とする請求項 10 記載の携帯端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、好ましい態様として、例えば請求項 9 記載のように、請求項 6 記載の動画再生方法において、前記全画面表示されている撮像画像の第 1 のヒストグラムを生成し、撮像画像全体または前記全画面表示されている撮像画像が存在した領域と同じ領域の近傍における撮像画像の第 2 のヒストグラムを生成し、前記第 1 のヒストグラムと前記第 2 のヒストグラムとを比較し、前記撮像画像全体における、前記全画面表示されている撮像画像の位置を特定し、該特定された位置の撮像画像を全画面表示するようにしてもよい。

また、上記目的達成のため、請求項 10 記載の発明による携帯端末は、動画再生機能を有する携帯端末であって、動画を再生する再生手段と、前記再生手段により再生される動画の特定領域に含まれる特定映像を全画面表示する表示手段と、前記表示手段に全画面表示されている特定映像の第 1 のヒストグラムを生成する第 1 ヒストグラム生成手段と、前記再生手段により再生される動画の全体映像の第 2 のヒストグラムを生成する第 2 ヒストグラム生成手段と、前記第 1 のヒストグラムと前記第 2 のヒストグラムとに基づいて、前記再生手段により再生される動画の全体映像から前記特定映像が含まれる新たな特定領域を検出する特定領域検出手段と、前記再生手段により再生される動画の全体映像うち、前記特定領域検出手段によって検出された新たな特定領域に含まれる特定映像を前記表示手段に全画面表示する表示制御手段とを具備することを特徴とする。

また、好ましい態様として、例えば請求項 11 記載のように、請求項 10 記載の携帯端末において、前記特定映像が含まれる特定映像領域の初期位置を指定する初期位置指定手段を具備するようにしてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明によれば、撮影時のズーム/ワイド、あるいは映像の動きによって生じた画面内の映像の拡大/縮小に合わせて容易に表示の拡張を行うことができるという利点が得られる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】